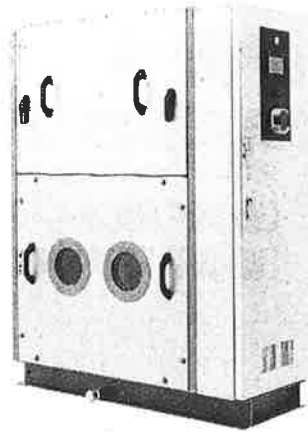


空間除菌、新晃工業など5社

空調専用噴霧ユニットを発売

除菌ミストを一定時間維持

空間除菌（社長・森久彦氏）、東洋熱工業（社長・芝一治氏）、新晃工業（社長・末永聡氏）、広沢電機工業（社長・佐々木晃氏）、NSEエンゲージメント（社長・廣松茂氏）は、大空間向け除菌システムとなる空調専用噴霧ユニット「DVAC-4000」の



DVAC-4000

販売を今月から開始する。

新製品は、既存の空調設備に後から容易に設置することができ、除菌システム。空調タクトを介して極めて微細なクロラス酸水のミストを大空間に行き渡らせ、保湿させることで除菌

効果を発揮する。

新製品のミストには、食品添加物、殺菌剤メーカー、三慶（会長兼CEO・合田学剛氏）が製造特許を有する「クロラス酸水」

（亜塩素酸水）の希釈液を利用している。クロラス酸水は、食品工場や飲食店・スーパーマーケットなどで実績のある除菌剤で、多様な細菌・ウイルス・カビに対して優れた除菌力を有し、除菌効果は第三者機関によっても実証されている。

アルコールや次亜塩素酸ナトリウム、次亜塩素酸水などに比べて水や汚れの影響を受けにくく、独自のサ

イクル反応によってその効果が穏やかに長続きするのに加え、手肌に優しく、金属が錆びにくく、布も変色しにくいのが特徴である。

新製品は、実用空間において一定の広さの空間に一定の粒子数のミストを一定時間維持することが可能な装置。空間除菌が開発した専用の噴霧ユニットによって極めて微細なミストを生

成する。

独自の特許技術によって一般的な加湿器の十分の一から二十分の一にあたる0.3〜0.5μmの粒子径を実現。ブラウン運動によって空気中で落下しにくく拡散するため、空間で長く滞留することができる。

このミストを既存の空調設備を介して大空間に行き渡らせることで、空気中に浮遊する細菌やウイルスなどの除菌を行う。